

甲



正五位勲六等比田孝一外一名
任免ノ件

右謹テ奏ス

明治四十三年十二月九日

内閣總理大臣侯爵桂太郎



内

閣



201

明治四十三年十一月九日

十七日午後十時

明治四十三年十一月九日

内閣書記官



内閣總理大臣



内閣書記官長



正五位勳六等比田孝一

任官城縣技師

敘高等官三等

休職山形縣最上郡長小鷹銳健

依願免本官

裏面白紙

202

正五位勲六等 比田孝一

任宮城縣技師

敘高等官三等

右謹 奏 久

明治四十三年十月九日

內務大臣法學博士男爵平田東助



內務省

裏面白紙

内務省

銓第之三一號

之本國之廳存別技師

比田孝一

右本人、履歴書ニ依リ、銓衡候處
頭書相當ノ資格アル者ト認ム

明治廿八年十一月二日

文官高等試験委員印

休職山形縣最上郡長 小鷹 銳健

依頼免本官

右謹 奏

明治四十三年十月九日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省

205

辭職願

私儀

山形市助役ニ就任致シ事務多忙ニ
付休職郡長辭職仕度俟修職務
御差免被成下度此段奉願也

明治四十三年十月三十一日

休職山形縣最上郡長小鷹銳健



内務大臣男爵法學博士平田東助殿

内務大臣第八三一號

別紙 比田孝一 任用 一件

上奏書進達
明治四十三年二月九日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

207

裏面白紙

内務大臣 田中 八三二號

別紙 小鷹 銳健 免官 〆件

上奏書進達又

明治四十三年十一月九日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

内務省

208